

鹿児島県歴史・美術センター黎明館



薩摩藩主島津家の居館，鹿児島（鶴丸）城跡に建つ人文系博物館。敷地をめぐる濠の石垣には，西南戦争で激戦が行われた時の弾痕が残ります。

鹿児島県歴史・美術センター黎明館は，歴史，考古，民俗，美術・工芸に関する 18 万点を超える貴重な資料を所蔵しており，鹿児島の歴史と文化を総合的に学ぶことができます。

2019 年 7 月には常設展示がリニューアルオープン。2 階の明治維新コーナーでは，薩摩藩や郷土の人々が明治維新で果たした役割などを，「薩摩藩の砲兵」や「関吉の疎水溝」などのジオラマを用いて分かりやすく展示しています。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

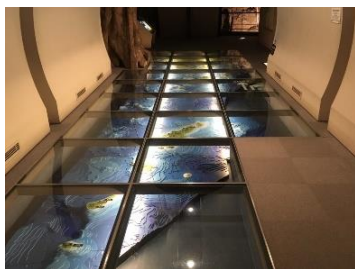
DATA

- 住 所：鹿児島県鹿児島市城山町 7 番 2 号
- 連 絡 先：電話 099-222-5100 F A X 099-222-5143
- ホームページ：<https://www.pref.kagoshima.jp/reimeikan/>
- 開館時間：9 時 0 0 分～1 8 時 0 0 分（入館は 1 7 時 3 0 分）
- 休 館 日：月曜日（祝日の場合はその翌日），毎月 25 日（土日祝日の場合は開館），
12 月 31 日～1 月 2 日
- 駐 車 場：普通車 1 2 5 台，バス 2 0 台
- 交 通：車／九州自動車道「鹿児島 IC」より約 20 分，「鹿児島空港」より約 60 分
電車／JR「鹿児島中央駅」・「鹿児島駅」より市電・バスを利用，「市役所前」または「水族館口」下車，徒歩 7 分
バス／鹿児島市内巡回観光バス「薩摩義士碑前」下車すぐ

●常設展示

1F テーマ展示

先史・古代から近・現代まで、時代を追って鹿児島県の歴史の流れを概観できます。



2～3F 部門別展示（歴史、民俗、美術・工芸）

分野ごとに特色ある鹿児島県の歴史や文化を紹介しています。



3F 体験学習室

昔の玩具や生活道具などを手に触れながら体験的な学習ができます。

●鶴丸城御楼門

鹿児島（鶴丸）城は、慶長6（1601）年頃、のちに初代藩主となる島津家第18代当主・家久が建設に着手した島津氏の居城です。

その居館（本丸）の正面中央にあった城のシンボルである「御楼門」は明治6（1873）年の火災で焼失しましたが、令和2（2020）年3月に復元されました。



●その他の施設

屋外展示（古民家「樋の間二つ家」、茶室）、天璋院篤姫像、新橋橋柱、聚珍寶庫碑など、レストラン、カフェ&ショップ、講堂、講座室、多目的トイレ、救護室、授乳室

●学習のポイント

常設展示では、歴史、考古、民俗、美術・工芸分野の豊富な実物資料や精巧なジオラマ、映像等を見ながら、鹿児島県の歴史や文化を幅広く学ぶことができるとともに、屋外では、薩英戦争・西南戦争の二度の近代戦を実際に経験した鹿児島城で、歴史を体感しながら学ぶことができます。展示に関する専門の知識をもった展示解説員が常駐しており、展示の案内や体験学習のお手伝いも行います。

鹿児島城跡地に建つ黎明館の周辺には美術館や博物館が隣接し、周辺の史跡なども併せて、班別の自主研修活動を実施する際の起点・終点としても活用しやすい場所です。

鹿児島県立博物館



鹿児島県立博物館は、鹿児島のシンボルである桜島の大正大噴火の記録を残すことを目的に造られました。もともと図書館だった建物を再利用して造られた博物館であり、本館は国の登録有形文化財となっています。現在は桜島だけでなく、鹿児島の豊かな自然を未来へ残し、人々に自然にもっと親しんでもらうために活動しています。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所： 〒892-0853 鹿児島市城山町1番1号
- 連絡先： TEL：099-223-6050 FAX：099-223-6080
E-mail：kahaku1@pref.kagoshima.lg.jp
- ホームページ： <https://www.pref.kagoshima.jp/hakubutsukan>
- 開館時間： 9:00～17:00（入館は 16:30 まで）
- 休 館 日： 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）、毎月 25 日ごろ
12 月 29 日～1 月 1 日 ※詳しくはホームページをご覧ください。
- 入 館 料： 無料（ただし、プラネタリウムは有料）
- 駐 車 場： なし（ただし、身障者用駐車場 2 台分あり）
- 交 通：
 - ・鹿児島空港からリムジンバス利用のときは、金生町か天文館バス停で下車 徒歩約 7 分
 - ・鹿児島中央駅からバス（電車）を利用する場合は天文館（天文館通）で下車 徒歩約 7 分

● 企画展示室 （1階）

3ヶ月ごとにテーマを変え、鹿児島を中心とした自然に関するタイムリーな話題や調査研究の成果などについて展示を行っています。



● 自然総合展示室A （2階）

「鹿児島の自然」をテーマに、豊かな鹿児島の自然をジオラマで再現。黒潮によって、鹿児島の自然を南から北へ海から山にたどることで、自然のすばらしさを発見できます。



● ディスカバリールーム （2階）

剥製等に触れたり、比べたり、また特有の音などを聞いたり、五感を使って、自然に慣れ親しみながら、その特徴を発見することができます。



● 自然総合展示室B （3階）

「鹿児島の人々と自然のつきあい方」をテーマに、鹿児島県の生物多様性や地形の成り立ちを感じることができます。



● 恐竜化石展示室 （別館宝山ホール4階）

鹿児島県内産の貝や植物化石のほか、北米ユタ州産の恐竜化石、南・北米産化石を展示しています。



- 天文展示室 （別館宝山ホール4階）
プラネタリウムでは、季節ごとの番組を制作して投影しています。また、展示室ではデジタル四次元地球儀等を展示しています。



- その他の施設
旧考古資料館（平成 14 年閉館，外観のみ見学可）と県指定天然記念物「世界ではじめて精子が発見されたソテツ」があります。



- 学習のポイント
本館の展示物の見学のほか、別館（宝山ホール4階）でのプラネタリウム番組視聴，さらに、毎週土・日に行われる「楽しい実験」や第2・4日曜日の天文教室，年間 35 回行われる科学教室などの教育普及活動があります。また、直接手を触れることができる展示や機器を操作できる展示も一部あります。
科学教室は事前に予約が必要です。予約の仕方等はホームページをご覧ください。

鹿児島県霧島アートの森



五感で楽しむ自然豊かな現代美術館。鹿児島県霧島アートの森は、霧島連山の西に位置する自然に囲まれた野外美術館です。自然の中で現代アートに触れてみてください。

アートホールでは、特別企画展、コレクション展、アトラボ事業などを開催しております。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、当園HPに、「学校等の団体利用ならびに団体用プログラムについて」を掲載しております。どうぞ御確認ください。

県外から学校の修学旅行でお越しの際は、入園料が免除となります。詳しくは鹿児島県のHP (<https://www.pref.kagoshima.jp/af08/kyoikuryoko/syugakuryokougugenmen.html>) を御覧ください。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：鹿児島県始良郡湧水町木場 6340-220
- 電話番号：0995-74-5945
- ホームページ：<https://www.open-air-museum.org>
- 開館時間：9 時 00 分～17 時 00 分（入園は 16 時 30 分まで）
- 休 園 日：月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 2 日）
- 駐 車 場：200 台
- 交 通：車／九州自動車道「栗野 IC」より約 20 分、「鹿児島空港」より約 40 分
電車／JR「鹿児島中央駅」より日豊本線「隼人駅」のりかえ、肥薩線「栗野駅」下車、町営ふるさとバスで約 20 分

バス／「栗野駅」または「いきいきセンターくりの郷」より、町営ふるさとバスで約
20分～40分

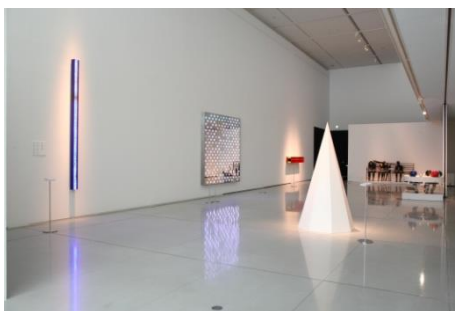
●野外常設展

人間と自然をテーマに国内外の芸術家が制作した 23 点の野外彫刻作品が通年観覧できます。



●アートホール

年間 4 回程度のコレクション展、年 2 回の特別企画展、年 2 回のアトラボ事業を開催しています。（令和 2 年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、展覧会の開催スケジュール等が変更になっています。当園 HP で御確認ください。）



●その他施設

カフェ、ミニライブラリー、多目的スペース、創造の森美術室、多目的トイレ、救護室

●教育普及活動

教育普及活動では、団体向けのプログラムを各種用意しています。人数や滞在時間に合わせて、ご参加いただけます。また、雨天時のみの利用も歓迎します。

[プログラム例]

- ・ギャラリートーク
- ・探検スケッチ
- ・ミッションチャレンジ
- ・野外作品フォトラリー
- ・みんなのアート工房（有料）

●学習のポイント

野外常設展や屋内のコレクション展などの作品を鑑賞したり、団体向けのプログラムに取り組んだりすることによって、現代美術に対する興味・関心を高めることができるとともに、今を生きる私たち自身や社会を見つめ直し、様々な発見をする機会が得られることとなるでしょう。

みやまコンセール (霧島国際音楽ホール)



世界と未来にひらく緑の中の音楽堂

森の生命に包まれた「みやまコンセール」には不思議な力が満ちていて、音楽を愛するすべての人々に素敵な夢を与えてくれます。ここに広がる感動のさざ波は、緑と光といのちのかがやきに包まれたこの音楽堂を飛び出して、世界へ、そして未来へ…。

鹿児島県内唯一の音楽専門ホール。中でも主ホールは、世界音響学会から「奇跡のホール」と讃えられた世界でも屈指の音響。

みやまコンセールが提案する音楽プログラムを、ぜひご利用ください。
また、合唱や吹奏楽等の練習会場としてもご利用いただけますので、お問い合わせください。



以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所：鹿児島県霧島市牧園町高千穂 3311-29
- 電 話 番 号：0995-78-8000
- ホ ー ム ペ ー ジ：<https://miyama-conseru.or.jp>
- 開 館 時 間：9 時 00 分～16 時 30 分

●休 館 日：月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌平日)，年末年始(12月28日～1月4日)

●駐 車 場：約500台

●ア ク セ ス：車 / 九州自動車道「鹿児島空港IC」または「横川IC」より25分

バス/ 鹿児島中央駅 ⇄ 空港連絡バス ⇄ 鹿児島空港 ⇄ 路線バス(霧島いわさきホテル行き) ⇄
「牧場」又は「柳平」で下車、徒歩約10分

JR / 日豊本線「霧島神宮駅」下車 ⇄ 路線バス(霧島いわさきホテル行き) ⇄ 「丸尾」で下車、
タクシーで約7～8分

肥薩線「霧島温泉駅」下車 ⇄ 路線バス(霧島いわさきホテル行き) ⇄ 「牧場」又は
「柳平」で下車。

●当ホールの主ホール(770席)では、霧島国際音楽祭のほかに年間50回程度の自主公演を開催しています。



三浦一馬・村治奏一
バンドネオン・ギターデュオ



シンフォニーの丘コンサート



野外音楽フェス
～みやまの森の響～

●小ホール(約200人収容)，リハーサル室(約40人収容)，練習室(8室)，野外音楽堂(約4,000人収容)は、合唱や吹奏楽・バンド等の練習会場としてご利用いただけます。



小ホール



練習室



野外音楽堂

みやまコンセールプロデュース

【ミニ・コンサートのご案内】

ミニ・コンサートは、県内外で活躍する「みやまコンセール協力演奏家」が、主ホールの素晴らしい音響とともに約1時間のステージをお届けするもの。クラシック音楽から馴染みのポピュラー音楽まで、幅広いジャンルをお楽しみいただけます。修学旅行や体験学習，研修旅行などのプログラムに、**奇跡のホール**で音楽に親しむひとときを取り入れてみませんか。学校団

体（20 名以上）、生涯学習グループなどの一般団体（30 名以上）でお申し込みいただけます。＊詳しくは[公式ホームページ](#)をご覧ください。

管・弦・打楽器・和楽器の独奏や、独唱、アンサンブルなどをお楽しみいただけます。
また、16 世紀～19 世紀に使われていたチェンバロ、フォルテピアノの鍵盤楽器の演奏を通して、ピアノの歴史と変遷を学ぶことができます。



時 間：1 時間

可能人数：30 人～770 人

料 金：500 円 / 人

申込方法：希望日の前月 1 日(必着・休館日の場合は翌日)までにお申し込みください。

上野原縄文の森



上野原縄文の森は、9500年前の縄文時代の竪穴住居などが発見された上野原遺跡を保存・活用するために作られた施設です。国内最古・最大級の集落跡として国指定史跡になり、日本の歴史公園100選にも選ばれています。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

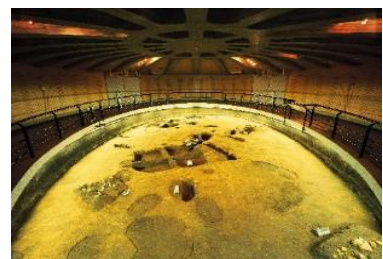
- 住所：鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森1番1号
- TEL：0995-48-5701
- ホームページ：https://www.jomon-no-mori.jp/
- 開園時間：展示館 9時00分～17時00分
(入館は16時30分まで)
体験学習館 9時00分～16時30分
(受付は16時00分まで)
- 休園日：毎月曜日(休日に当たるときは、その翌日)
(ただし、4月29日～5月5日、8月13日～8月15日は無休)
12月30日～1月1日(年末年始) 2月中旬(臨時休園)
- 駐車場：無料(約450台)大型バス可
- 交通：東九州自動車道国分ICから車で約15分 鹿児島空港から車で約40分



- 展示概要：①常設展示室では、9500年前の土器の展示や当時の縄文人達が暮らしたムラの風景をジオラマで紹介しています。また、国の重要文化財に指定された7500年前の出土品の展示を行っています。



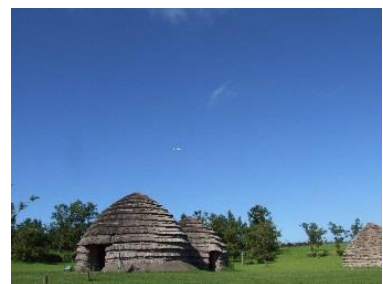
- ②遺跡保存館では、発見された集落跡の一部を発見当時のままの姿で保存、展示しています。



- ③地層観察館では、地下にもぐりこんで、上野原台地の生きた地層を観察できます。



- ④復元集落では、竪穴住居、集石遺構、連穴土抗など約9500年まえのムラを復元し、当時の暮らしがうかがえます。



- 縄文シアター：縄文時代の人々の生活の様子をアニメーションで紹介します。縄文時代の暮らしや命の大切さについて学べます。（約20分間）



- 体験学習館：体験学習館では、火おこしやアクセサリー作り、弓矢縄文作りなど昔の人々のくらしを体験できます。



- その他施設：2階には休憩所・自動販売機コーナー、3階には上野原縄文の森を見渡すことのできる展望所があります。
- 学習のポイント：縄文時代に使われていた土器などの貴重な出土品を見ることができます。また、縄文時代の人々の生活について映像や展示物で紹介しているので、調べ学習に最適です。

鹿児島県奄美パーク



奄美の美しい自然や多様な文化、歴史をビジュアルで紹介するとともに、人々の交流の場となる「奄美の郷」と、奄美の自然を描き続けた日本画家、田中一村の作品を紹介する「田中一村記念美術館」の二つの施設を中核としています。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所： 鹿児島県奄美市笠利町節田1834
- T E L： 0997-55-2333
- ホームページ： <http://www.amamipark.com/>
- 開園時間： 9時00分～18時00分（7・8月は9時00分～19時00分）
※入館は閉館時間の30分前まで
- 休 館 日： 毎月第1・第3水曜日（祝日の場合は翌日）
※ ただし、4月29日～5月5日、7月21日～8月31日、
12月30日～1月3日は開園
- 駐 車 場： 大型バス（7台）一般駐車場（240台）
※ いずれも駐車料無料
- 交 通： 奄美空港から車で約5分

1 奄美の郷

●総合展示ホール

集落の空間的な広がりを表現した総合展示ホールでは、豊かな自然と深くかかわってきた人々の暮らしぶりを、テーマ毎に「海の道」「シマの道」「森の道」と分けて実物大模型や映像で紹介します。



●奄美シアター

奄美シアターでは、「亜熱帯の輝き-奄美の海と森の物語-」「森と生きる 祈りの島～明日への遺産 奄美・沖縄の自然～」「奄美群島 島めぐり-亜熱帯の島の魅力を探る-」という3本の映像を上映しています。奄美の神秘的な自然と、固有の動植物、そして自然と共に暮らす人々の様子や、奄美群島の各島々の魅力を映し出します。

※ 上映時間 毎時15分・45分



●アイランドインフォメーション

奄美の各島々の自然や文化を、見て、触れて、体感しながら学べる展示スペースです。

奄美群島五島をかたどった模型地図では、タッチパネル等を利用して観光名所や郷土料理などを探すことができ、奄美の四季や生態系などを美しい4K映像を通して学べるコーナーもございます。



●遊びの庭

昔懐かしい遊び道具が揃う民家は瀬戸内町の古志集落から移築したもので、民家の横には八月踊りを体験できるコーナーもあります。

その他、奄美に関するクイズゲームコーナーもあり、楽しみながら奄美について学習することができます。



●その他

レストラン、売店、イベント広場、レクチャールーム、多目的トイレ

2 田中一村記念美術館

●田中一村

田中一村は明治41年（1908）に栃木県で生まれた日本画家です。

一村は、昭和33年、50歳のときに新たな自分の表現を求め、単身奄美に移り住みました。

奄美での一村は、絵を描くために紬工場で染色工として働き、切り詰めた生活の中でも、画家としての信念を貫き、亜熱帯の動植物をモチーフに日本画で独自の美の世界を創造しました。



●常設展示室・特別展示室

常設展示室及び特別展示室では、田中一村の「東京時代」「千葉時代」「奄美時代」の代表作を含む約80点（年4回展示替え）の作品群をご鑑賞いただける常設展を常時開催しています。



●その他施設

企画展示室、ガイダンス室、図書資料室、カフェ・ミュージアムショップがございます。

◆学習のポイント◆

「奄美の郷」において、奄美の自然、歴史、文化を映像や展示などで楽しく学ぶことができ、「田中一村記念美術館」では展示作品を通して、日本画の境地を築いた田中一村独特の作品世界や清貧で孤高な生き方を通じた彼の人生について学ぶことができます。また、屋外には、田中一村の作品世界を亜熱帯の植物で再現した「一村の杜」や、管制塔をイメージした展望台、無料の貸出し遊具等で遊べる多目的広場等があり、晴れの日でも、雨の日でも、天気によらずに楽しめる観光施設です。